

◆ 今週のコメント

- ・ A型肝炎の本年初めての報告が1例(男性, 20歳代)ありました。症状は発熱, 食欲不振, 黄疸, 肝機能異常です。推定感染地域は中華人民共和国で, 推定感染経路は経口感染です。
- ・ 日本紅斑熱の報告が1例(女性, 30歳代)あり, 京都市では「感染症法」が施行された平成11年4月以降初めての報告となっています。症状は発熱, 頭痛, 刺し口, 発疹, 肝機能異常です。推定感染地域は国内で, 推定感染経路はダニからの感染です。日本紅斑熱の詳細につきましては, 下記ホームページで御確認下さい。
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000111734.html>
- ・ レジオネラ症(肺炎型)の報告が, 1例(男性, 60歳代)あります。本年の累積報告数は10例です。症状は発熱, 肺炎, 腹痛, 嘔気です。推定感染地域は国内で, 感染経路は不明です。
- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は, 0.09(6例)となっています。12月6日に今シーズン初めて本市内での学級閉鎖の報告がありました。
また, 今シーズンのインフルエンザ発生状況を下記に掲載しています。
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000071285.html>
なお, 今まで掲載していました腸管出血性大腸菌感染症の発生状況に関する情報を, 感染症トピックス(Back Number)欄に移動しました。
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>

◆ 今週のトピックス: <水痘>

水痘の定点当たり報告数は, 1.77(69例)で, 先週(1.13)よりも増加し, 過去5年平均値を大きく上回っています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 四類:A型肝炎 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 四類:日本紅斑熱 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 10例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点66, 小児科定点39, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.09	6
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.74	107
	② 水痘	1.77	69
	③ 手足口病	1.31	51
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.62	24
	⑤ 突発性発しん	0.49	19
眼科	流行性角結膜炎	0.90	9

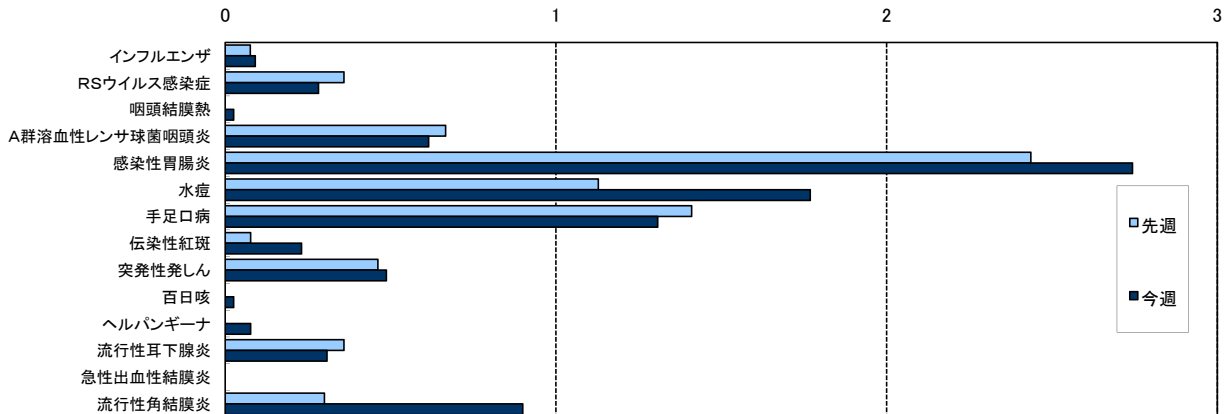
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <水痘>

(注) 京都市のデータは, 平成23年12月8日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

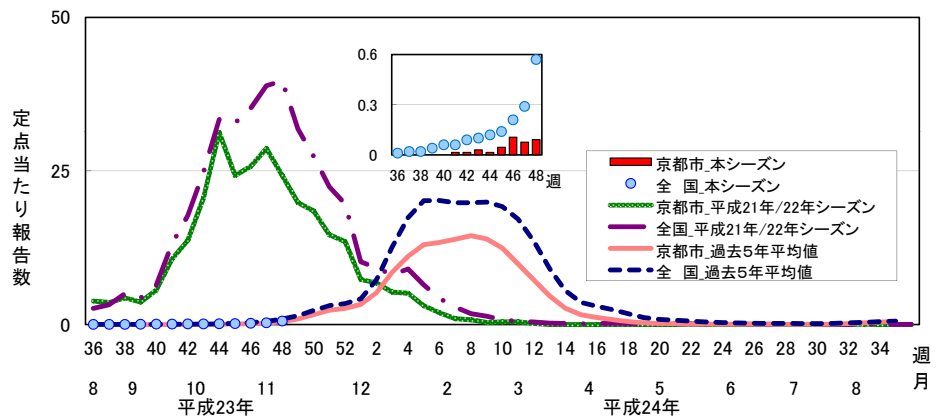
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第48週)と先週(第47週)の定点当たり報告数の比較



2 インフルエンザの推移

週	報告数(例)
第44週	1
第45週	3
第46週	7
第47週	5
第48週	6
累積報告数(第36週以降)	27



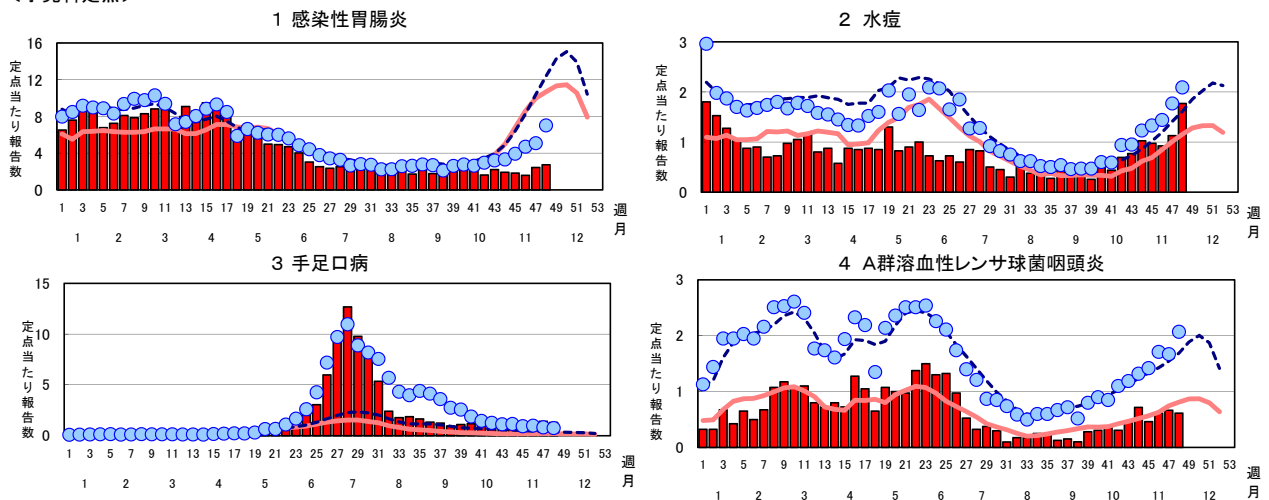
※平成21年/22年シーズンは、新型インフルエンザの発生により、例年と流行傾向が大きく異なるため、別に表記しています。過去5年平均値は、36-52週はH17-H20年及びH22年、1-35週はH17-H21年の平均値です。

※京都市のインフルエンザ発生状況の詳細を下記に掲載しています。

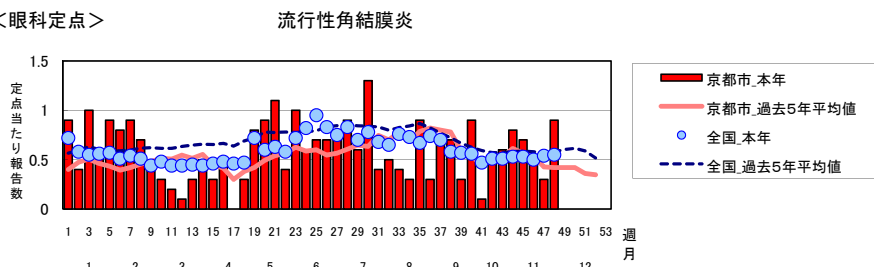
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000071285.html>

3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



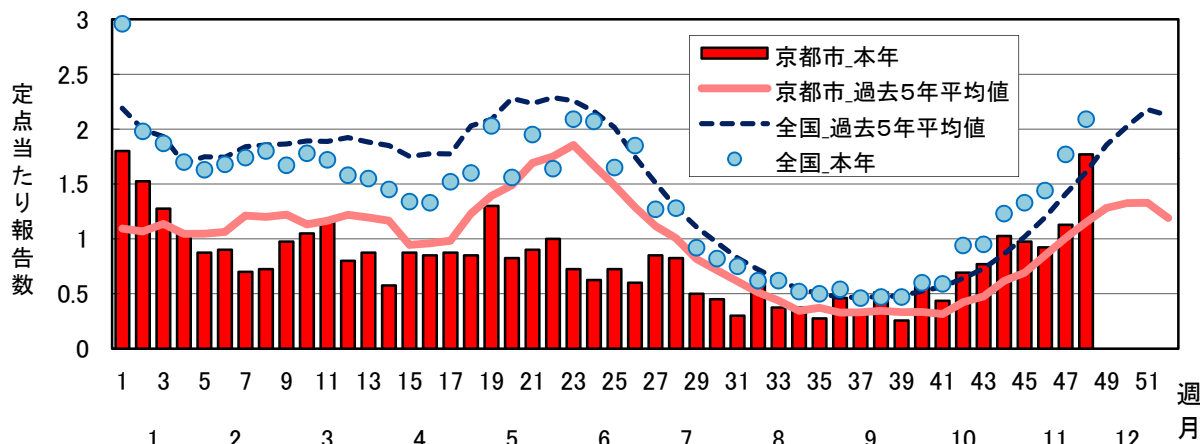
第48週(11月28日～12月4日)トピックス: <水痘>

水痘の定点当たり報告数は、1.77(69例)で、先週(1.13)よりも増加し、過去5年平均値を大きく上回っています。増加する時期でもあり、今後の動向に御注意ください。

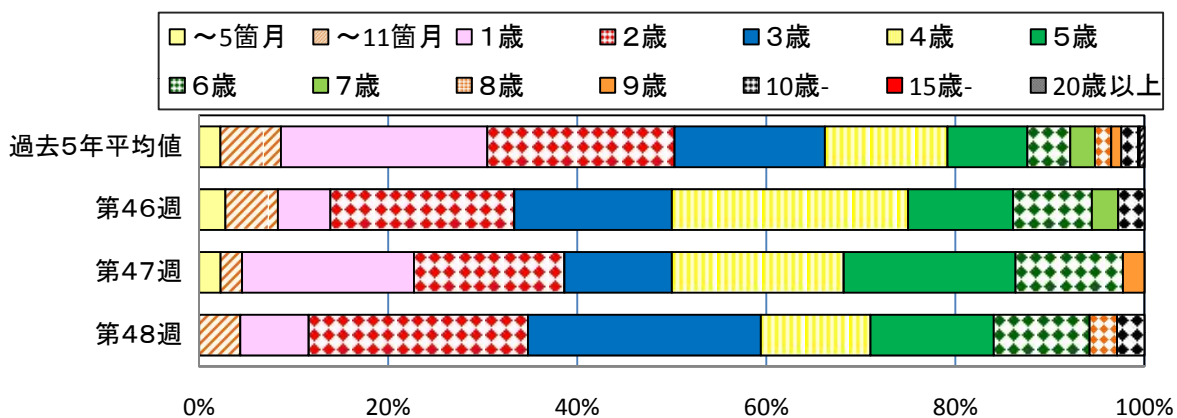
年齢階級別では、3歳が17例(24.6%)と最も多く、次いで2歳 16例(23.2%)、5歳 9例(13.0%)の順となっており、2歳～6歳で82.6%を占めています。

行政区別では、すべての行政区で報告があります。

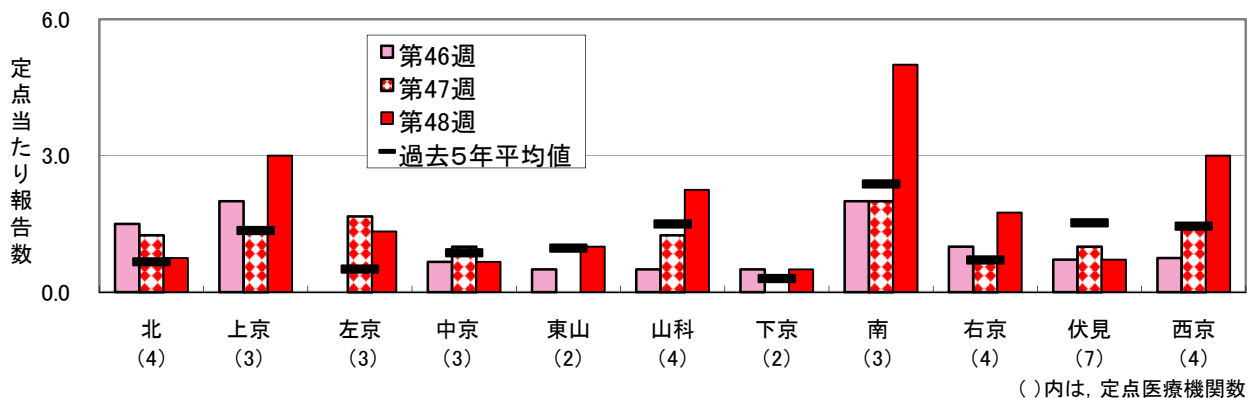
本市及び全国の定点当たり報告数の推移



年齢階級別割合の推移



行政区別定点当たり報告数の推移



()内は、定点医療機関数